

四山鉦

坑底からの報告

まわり出したベルト 追及に青ざめる主席

四山指導部 片山末吉

七月十八日の午前十時のこと、状況説明に入り、そのとき四山鉦、一斉に退避訓練が行なわれました。

回り出したベルト

坑底の三十五添西五片に集まった人は、おおよそ百二十名。現場責任者である山口主席(常一)も走陣(が)、「ホーリングもベルトも運転しませんから、安心して車を運転してください」と話し、

解散して逃げる

皆の間に、大きな不満が渦まきました。「質問はありませんか」と問う山口主席に対して、現場の空気を察してか、突然新労組員のAさんが、

「なぜみんなが集まってきたら始めないのか。遅れてきた者はどうするの。COマスの携帯は、ちゃんと点検しているのか」と、すくなく迫りました。

少なかった「発言」

考えさせられた組長交流

手記 四山指導部 高田 富男

日頃は、鉦員に対して横着な言動をしている山口主席も、この時ばかりは顔色がまっ青になり、答弁にならない答弁を繰り返しました。

組長交流に参加して第一に感じたいことは、先組長の発言が少く、またメモをしていないこと、さびに三池労組員のBさんが、

問題は

内にある差別思想

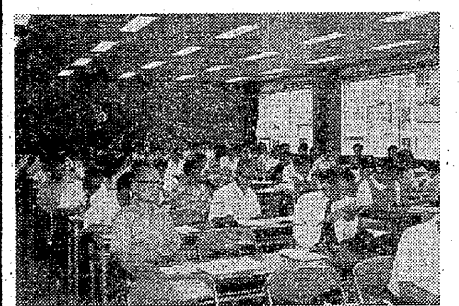
部落解放決起集会で訴え

六月十六日、大牟田労働福祉会館で、部落解放三大闘争決起集会(大牟田部落解放共闘会議主催)が開かれ、部落解放同盟福岡県連の高田副委員長より、右闘争についての訴えがありました。

二つには、昭和五十一年十一月に摘発されたもので、国じゅうの五千四百の部落のくわしい内容を八種類もパンフレットに、百五十の企業や学校、病院などに渡した事件です。

六月十六日、大牟田労働福祉会館で、部落解放三大闘争決起集会(大牟田部落解放共闘会議主催)が開かれ、部落解放同盟福岡県連の高田副委員長より、右闘争についての訴えがありました。

今、たとえば石川青年を犯人にデッチ上げた事件では、広がった全国共闘会議が中心となって、その「無罪、釈放」を要求して闘っておりますが、独立資本が支配する差別社会のなかでは、差別は果てなく再生産され、人間をえりごみさせ、労働者を分断し、人権をおさえこむ手段に使っているのです。



今、たとえ石川青年を犯人にデッチ上げた事件では、広がった全国共闘会議が中心となって、その「無罪、釈放」を要求して闘っておりますが、独立資本が支配する差別社会のなかでは、差別は果てなく再生産され、人間をえりごみさせ、労働者を分断し、人権をおさえこむ手段に使っているのです。

生かすこと。それが、組長交流のもつ意義ではないでしょうか。私の職場分會では、一番の時は必ず三役、組長、全体会議を定例化しています。組長は参加人員の都合で全体会議に切り替えたり、合同組合社内での五分間集會も、毎日行なっています。

家族会議を始めました

横浜 柴戸 桃子

すっかりお返事が遅れてしまったことを、心よりおわび申し上げます。六月十二日に、三池出身の伊藤勇さんを講師に迎えて、まなま講演会があり、その席で私も三池の感想を報告させていただきました。

組合運動の原点を見た思い

広島から便り

このほど広島県教職員組合三次地区支部青年部(広島県三次市十日町九〇四、双三教育会館内)は、映画「三池のたたかい」を鑑賞した。その感想が寄せられてきた。次の一文がそれで、「再び、組合運動の原点を見た」思いだった、と述べている。

「この度は貴重なフィルムをお貸し下さりまして、誠に有難うございました。おかげさまで、われわれ青年部も感動し、再び組合運動の原点を見つめて、闘争心を燃え上げることができました。われわれの周辺にも多くの難問が山積しており、一つひとつの解決に向かって進んでいく所存です。今後とも組合運動を通じてよりよくお願ひ申し上げます。」

新一年健康診断



今年初め、四山鉦がそこかしこにはりめぐらしたZD標語。保安など口先ばかり。その証拠に、坑底では形ばかりの退避訓練が行われ、労働者の命を犠牲にしながら、重大災害が続発していく。